

# 岡山に感謝絆の調べ

## 就実中・高と吹奏楽演奏会 復興へ願い込め

### AMD A支援の岩手・大槌高

東日本震災で被災し、国際医療ボランティア・AMD A（本部・岡山市北区伊福町）が支援を続ける岩手県大槌町の県立大槌高と、就実中・高（同弓之町）の両吹奏楽部による「絆コンサート」が19日夜、岡山市内で開かれた。復興へ向け、同世代が心を通わせた調べが聴衆を魅了した。

謝意を示すため同高が申し出。AMD Aの仲介を就実側が快諾、実現した。

な音に変えて演奏できた。今度は大槌で合同演奏したい」とたたえ合った。（入野晶彦）

■本社HPに動画

大槌町では津波のたゞ一時約千人が生活。診め、住民約1・5万人療活動に当たったAMD Aの1割が死亡・行方不明になった。高台にある大槌高は被害がなかったが、避難所としてきた。演奏会は支援へ

演奏会で大槌高の14人は、希望を持って暮らしている被災者の思いを示そうと「明日があるさ」や東北地方にちなんだ演歌メドレーなど10曲を演奏。就実中・高の62人は復興支援への願いを込めた英国作曲家の吹奏楽曲「陽はまた昇る」など3曲でエールを送った。フィナーレはディズニーメドレーを合同演奏。両校の絆を感じさせるハーモニーに、会場を埋めた約350人が温かい拍手を送った。



就実高吹奏楽部長の荒島幸代さん(17)は「勇気付けるつもりが、逆に私たちが元気をもらった」。大槌高吹奏楽部長の臺隆裕君(17)は「これまで支えてくれた皆さんの力を大きく震災復興へ向け、同世代が音楽で絆をつないだ大槌高と就実中・高のコンサート